

Bar-c. は人生の全ての段階、幼年期・成年期・老年期、に用いることができる。しかし、最もありふれてみられるのは子供であり、このレメディは腺病質の子供の助けとなり、特に肉体的に退行しているような場合、矮小な者、成長や発達のみられない者に良い。

この Dwarfishness・矮小さは肉体レベルだけでなく感情や精神のレベルにもみられる。

私は、Dwarfishness という言葉によって、Bar-c. を身長の高い者や本当の小人症の者にルーチンで用いるということを意味しているわけではない。頭の回転の速い知力のある者や強いバイタリティを持つ者には用いない。

Bar-c. の肉体的な矮小さというのは、特定の器官が十分に発達していないというような場合に特異的にあてはまる。特に性器である。精巣と陰茎が非常に小さくて弛緩しているとか、あるいは子宮が大人になっても子供サイズのままであるとか、一般に発育の遅延というのが Bar-c. の強い要素である。

子供の Bar-c. の外見はきわめてハッキリとしている。彼らは太ってはいないが腹部が膨れており、しかしそれにも関わらず消耗しているようにみえる-Calc. のように。皮膚は通常の子供のようなみずみずしさが無い一年齢よりも老けてみえ、皺がよっているようにみえる。線が腫れ、特に扁桃が強くなり肥大し食欲が減退してしまう。この扁桃の腫脹やアデノイドのために子供は口で息をするようになるかもしれず、そのため表情が一般に‘愚か’と言われる外見になる。

Bar-c. の子供はとても深刻な顔つきをしている。マインドには知性のない深刻さがある。彼らは明敏さを欠いている。そのために彼らは、起こっていることを理解しようと常につとめているかのようなものである。頭脳が完全にぼんやりとした状態にあるかのようなものである。

これらの子供はとてもシャイである。インタビューの間、Bar-c. の少女は椅子の後ろに隠れ母親にくっついて鈍く深刻な表情でこちらをみつめている。彼女にこちらに出てくるようにと言いつけることはできない。しかし、彼女の方まで行って手で彼女に触れても彼女は抵抗しない。

他のレメディ-Nat-m. Tarent. Arn. Hep-sulf. のような一の場合、あなたが彼女の方へ寄っていくと騒ぎ立てるだろう。彼女らは自分がどのように感じているかをちゃんと知っていて、あなたが触れてくることを許さない。しかし、Bar-c. の場合はあなたが彼女をあなたの方まで連れ出すことを許すだろう。

彼女は従順である。彼女はあなたをじっと見る。“この人は私に何を求めているのだろう”と思う。しかし彼女には自分の意志はない。あなたが望むことがなんであれ、彼女はそれをやろうとする。

彼女のシャイさは、理解の欠如と彼女を保護してくれる慣れ親しんだ状態や慣れ親しんだ人のところに留まろうとする本能からくるものである。

またこのシャイな状態は8～10歳頃まで続くということも指摘しておきたい。通常の子供の場合は3～4歳頃までみられるものであるが、Bar-c. ではそれがもっと年長になるまで続き、同じような子供っぽさのままにとどまるのである。

このような理由でレパートリーの中で Bar-c. は Fear of stranger、Aversion to company に挙げられているのである。

Bar-c. の子供は物事を身につけるのが遅い一歩くこと、特に話すことである。3, 4 歳の頃まで話さないこともある。彼らに自分の足で立たせて歩くことを教えようとしても、彼らは自分が片方の足をもう片方の足の前に置くことを求められているということがただ単に理解できないようにみえる。

通常の学校ではこれらの子供はすぐに遅れてしまう。Bar-c. を投与されない場合、こういった子供は3年くらいに1年はhold back（落第？）してしまうのはよくあることである。ギリシャでは「MICRO（小さな）MOUS（知性・心）」とは‘小さな頭脳’‘単純な頭脳’ということを表す。これが Bar-c. の知性を正確に言い表している。彼らの頭脳は複雑なもの—たとえば、4つ5つ以上の要素の関わるあらゆる問題—を扱うことが全く不可能であるように思われる。

彼らは機械的なやり方で物事を考える傾向がある。Structure・構造的なものと Routine・おきまり事が彼らには最もよいものなのである。

父親が Bar-c. の息子に翌日の授業のために歴史の本の一節を勉強するようにと言ったとする。すると彼は喜んでそこに座り、その一節と長い時間取り組んで記憶して暗唱できるようになるまでやる。しかし、彼はその意味を本当に理解しているわけではない。次の日、教師がその一節を説明するように彼に言うと、彼はただただ応答することができない。ある部分では彼のシャイな状態のためにそうなのであるが、ほとんどはその一節を完全に忘れてしまったためなのである。

Bar-c. の頭脳はぼんやりとしている。物事を理解することが容易ではない。保持することができない。

これらの子供は、自分の周囲で起こっていることを自分が全く理解していないということは把握している。それ故に、彼らは慣れ親しんだ安全な環境の中でひとりでいようとする。彼らは他の子供と遊ぶとしない。親しい友人を作ろうとしない。

そういった理由からまた彼らは他人に対する不安感を持つ。彼らは自分を保護する者、親しい関係者を失うことを恐れる。

もちろん Mongoloid の子供には Bar-c. が考えられる。しかし、注意すべきなのは、その病的な現実的欠陥の状態を見極める必要があるということである。Mongoloid には特有の欠陥がある。生まれつきある一定の知力しか持つことができない。この発生の段階から欠落している知力を正常人のそれにもっていくことはできない。

しかし、Mongoloid の子供は時に他の問題、寒さに対して敏感である等々のことをもっている。これはさまざまなレメディ、Calc. や Tub. Puls. 等々によってすくい上げることができる。

こういった Bar-c. の症状像は大人になっても同様に続く。しかし、通常はその知力の不足を補う何らかの術を身につけている。社会的な集まりの中で、誰かが話をしている間、彼は沈黙を守る。一般に彼は人付き合いを避け、家族にぴったりとくっついている。

しかし、「子供っぽい」言動がはっきりと分かるのは大人の時である。彼らはその場で話題にされていることと全く関係の無いような事—馬鹿げたこと、愚かな事—を言う。

たとえば人々がポピュラー音楽について話していて、誰かがエルビスプレスリーは素晴らしい Performer だと言ったとすると、Bar-c. はこう言う“まったくだ。彼は OK だ。しかしマリアカラスとは比べものにならない”。Bar-c. の人こういった愚かで文脈からはずれた事を言うのである。

彼らには物事の見通し・展望というものも欠落しているように見える。そのため彼らの頭脳は最も単純なつながりしか持たず、他人からみるとそれが馬鹿馬鹿しく子供っぽいものに映るのである。

別の例をみてみよう。

Bar-c. は自分が毎日行うおきまり事は非常にうまくやることができる。しかし、複雑すぎる物事は扱うことができない。

仮にある人が妻に夕食に 10 人の人を招待したと告げたとしよう。彼女は自分や夫の分だけならパーフェクトに料理を準備する。しかし 10 人だって？彼女は使用する複雑な調理器具を扱いきれないし、全ての食事を同じ時間に準備するのにどのように時間をやりくりするかが分からないし、その他の諸々のことが扱えない。どこで始めてどこで終わりにするのか分からない。

しかし、このことを直接告げる代わりに、彼女は夫に“でも私はちゃんとした服をもっていないわ”と言う。

Bar-c. に非常に特徴的な「IRRESOLUTION・不決断さ」が、この複雑さを扱えないということから生じてくる。

ある夫婦が新しい家を探していて、ある物件がバーゲンで出ていたとする。それは完璧なサイズで、ロケーションも絶好で、価格も通常と比べると 1 / 4 しかない。夫が言う“どうする？”。妻はここが決断の時だとわかっている。彼らはお金を貯めてきたのだ。しかし、彼女はその決断の重大さに恐れをなしてしまう。そしてこう言う“ええ、いいわね。でも近くの山が大きすぎないかしら？空気の流れを遮るかも。それにポーチが汚いわ”と。

彼女には物事を正しく見通す力が欠けている。そのために決断に至ることができない。これは家を買うことに関して子供に決断をせまっているようなものである。

不決断さが精神レベルで強く表れている時は常に Bar-c. は考慮にいれるべき主要なレメディのひとつである。

Bar-c. のマインドはとても単純なので、彼らは知性が過剰に働くことからくる重圧にさらされることはない。しばしば彼らは本能的なやり方での理解力があり、かつ正確である。誰かに会ったとき、彼らはすぐさまその人が良い人か悪い人かを本能的に察知するし、そしてしばしばそれは正しい。ただ、たとえそうだとしても、彼らの判断はとても complex 混乱している。実際には、精妙で洗練された感じを捉えることはできない。

Bar-c. は特定の経路で悪化してきた動脈硬化の人に用いることのできるレメディである。こういった動脈硬化の人は、人形遊びをしたり、リボンを髪に結んだりとても子供っぽい行いをする。こういった人々は、不可逆的な状態となっていない限り、Bar-c. によって 2, 3 年くらいで元の状態にうまく戻るだろう。

Bar-c. と Bar-mur. は膝が腫れて硬くなる Mononucleosis にしばしば用いられる。一般に Bar-c. は寒がりである。しばしば甘い物を嫌う。果物、特にプラムを嫌うという項目のたった 3 つのレメディのうちの一つである。Bar-c. を選ぶような特有の peculiar な症状としては、空気がきれいなのに関わらず煙を吸い込んだような感覚を生じる、というものである。